

個人情報保護委員会（第31回）議事概要

- 1 日時：平成28年2月21日（火）14：00～16：00
- 2 場所：個人情報保護委員会 委員会室
- 3 出席者：堀部委員長、嶋田委員、熊澤委員、丹野委員、手塚委員、加藤委員、
宮井委員
其田事務局長、福浦総務課長、山本参事官、坂巻参事官、
小川参事官

4 議事の概要

（1）議題1：公的年金業務等に関する事務全項目評価書について

事務局から、特定個人情報保護評価指針に定める「審査の観点」及び「審査の観点における主な考慮事項」に基づき、厚生労働省における公的年金業務等に関する事務全項目評価書の特定個人情報保護評価指針への適合性及び妥当性について、審査した結果に関する説明を行った。

本評価書について承認され、厚生労働省に対し、評価書が承認された旨及び承認後に評価書に記載すべき委員会の審査結果等について通知することとなった。

（2）議題2：認定個人情報保護団体の認定等に関する指針（案）について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

加藤委員から「現行の主務大臣による認定指針の内容を踏まえていることに加え、個人情報保護指針を提出させることにより、その位置付けを重視していること、漏えい等事案発生の際の対応に係る告示の内容が反映されており、バランスの取れた内容となっている」という旨の発言があった。

丹野委員から「活動レベルに差がある既存の認定個人情報保護団体について、本指針（案）の考え方に基づいて底上げを図っていくことが重要であるが、当委員会では既に何回か各団体が一堂に会する連絡会議を開催して情報提供・情報交換を行ったとのこと、各団体にとって有意義であったと思うし、監督が一元化されることの成果でもある。今後、更に様々な手法で底上げを図りたい」という旨の発言があった。

熊澤委員から「指針（案）に沿って各団体が役割を果たせるよう当委員会が支援することが重要。認定個人情報保護団体の制度は、国際的にも注目され、その真価が問われるものと考えている。当委員会はCBPRのアカウントビリティ・エージェントの監督も行うことになるため、適切な監督に加えて適切な連携を行うことでCBPRの促進につなげたい」という旨の発言があった。

嶋田委員から「本指針（案）に基づき、新たな認定個人情報保護団体が設立されることも期待したい」という旨の発言があった。

原案のとおり了承され、パブリックコメントの進めていくこととなった。

(3) 議題3：匿名加工情報に関する事務局レポートについて

事務局から、資料に基づき説明を行った。

手塚委員から「よくまとめられていて、ユースケースから具体的な加工方法をイメージすることもできる。ビッグデータの活用という法改正の目的の一つが実現するよう、認定個人情報保護団体等の自主ルールにつながることを期待したい」という旨の発言があった。

嶋田委員から「質問ダイヤルに寄せられる相談の内容を見ると、この制度に対する理解が不十分だと感じる。企業においてはこのレポートを参考として、消費者にも受け入れられるような説明をしていただくことを期待したい。タイトルの活用と保護の『両立』という言葉が象徴しているように、当委員会の目指す方向性を汲み取ってもらえると良い」という旨の発言があった。

丹野委員から「消費者相談の現場でも、匿名加工情報から個人情報が見復元・悪用されるのではないかと消費者の懸念がよく聞かれるが、懸念の払拭に必要なことは、まず第一に正しい理解である。そうした意味でこのレポートが役立つことを期待したい」という旨の発言があった。

加藤委員から「このレポートは匿名加工情報制度の全体の分かりやすい導入となる、評価できる内容である」という旨の発言があった。

堀部委員長から「海外機関の事務局レポートは重要なものと位置付けられている。今回のレポートもそういった位置付けになると期待したい」という旨の発言があった。

原案のとおり了承され、ホームページに掲載することとなった。

(4) 議題4：「事業者における特定個人情報の漏えい事案等が発生した場合の対応について」の一部改正に係るパブリックコメントの実施について

事務局から、資料に基づき説明を行った。

宮井委員から「特定個人情報の漏えい時と個人情報の漏えい時の対応は基本的には同じだが、若干の相違点もあり、事業者が混乱しないように、ホームページに両者を比較できるものを掲載してはどうか」という旨の発言があった。

丹野委員から「個人情報の漏えい時における報告先を一覧化して示すことは良いと思う」という旨の発言があった。

堀部委員長から「本告示の改正は事業者からの関心も高く、パブリックコメントでの意見を踏まえ対応していきたい」という旨の発言があった。

原案のとおり了承され、パブリックコメントに付すことになった。

(5) 議題5：その他

加藤委員の海外渡航について承認された。

以上